

発行：陸前高田の在宅療養を支える会（チームけせんの和）

〒029-2205 岩手県陸前高田市高田町字太田512-2（岩手県立高田病院内）

「チームけせんの和」に寄せて

岩手県立高田病院 総看護師長 中田留美子



今年度4月より高田病院に赴任いたしました。以前、2017年から3年間高田病院でお世話になった期間では、看護出張外来や「劇団ばばば」のDVD作成にも（少しだけですが）参加させて頂いたり、地域の皆様には大変お世話になりました。仮設の病院から現在の新病院への引っ越しも経験しました。4年ぶりの高田病院は地域に馴染み、向かいの高田小学校や市役所・以前は工事中だった道路が完成しており以前より落ち着いた印象を受けました。

高田病院では今年3名の看護師長がすべて交代となりました。新しい3名で焦りながらも病院内や地域の皆様に助けられ何とか勤務して、早いものでもう4カ月が経過いたしました。

看護科理念である「地域の皆様のところによりよい安全で安心できる看護を提供いたします」を基本として、職員一丸となり患者さんの療養・回復の支援に努めております。また、入退院支援看護師が窓口となり地域の多職種の方々と連携し継続した支援を行っています。病院内はもちろん、地域の多職種の方々とコミュニケーションを図り、患者さん・ご家族の思いに寄り添いながらよりよい看護が提供できるよう取り組んでいきたいと考えております。今年度は、在宅で介護されているご家族の負担軽減のため、レスパイト入院も積極的に受け入れていきます。

新型コロナが5類へ移行したことにより、入院中の患者さんの面会が時間制限付きではありますが可能となっています。また、病院の様々な取り組みも再開しています。次世代の気仙地域の医療を担う人材育成への貢献のため、中学生、高校生を対象とした「ふれあい看護体験」や地域や学校等に伺っての出前授業等を行っております。在宅・慢性領域の特定行為研修修了者に加え、摂食嚥下障害看護の研修を修了した看護師も誕生しています。気仙地域全体での活動を目指しておりますので、病院・施設・在宅などにおいて、お困りごとがあればご相談頂きたいと思います。

少子高齢化で生産年齢人口の減少が進む昨今、医療・介護・福祉機関や行政が一体となった地域づくりが重要と考えます。高田病院看護科として「チームけせんの和」の活動を通し、顔の見える関係を築きながら学ばせていただきたいと思いますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。



「チームけせんの和」 総会報告

令和6年5月20日 市役所で役員会が開催され、総会資料、事業計画等について確認しました。その後、令和6年5月28日 陸前高田市コミュニティホールで総会が開催されました。（参加人数74名）議事では令和5年度事業報告及び収支決算、令和6年度事業計画・収支予算について協議し原案通りに承認・可決されました。

昨年度の事業内容の研修会は3回開催され、それぞれ、75人・63人・63人とたくさんの会員様のご参加をいただきました。本当にありがとうございました。

今年度の新規加入事業所はありませんでした。

★今年度の事業計画は以下の通りです。

1. 研修：年3回（5月、10月、1月）、情報交換会年1回の予定。
2. 市民啓発活動：劇団ばば☆活動
3. 広報活動：会報「チームけせんの和」だよりの発行。年3回（8月、11月、2月）。
会員様からのたくさんの投稿をお待ちしております。
4. その他：岩井先生から《令和6年度（2024）事業計画の一部紹介》として

- ・救急医療情報キットを作ろう！プロジェクト
- ・「ACPを市民に広めよう」プロジェクト
- ・「より良い在宅療養のために」とガイドブック作成と市民啓発プロジェクトの話が出されました。

会員の皆様、今後、作成・推進にむけて、ご協力をよろしくお願いいたします。

役員選出も行われ、事務局案で承認されました。

任期は令和7年3月31日までとなります。

役員の皆様そして会員の皆様、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

令和6年度役員紹介

役員名	氏名	区分
会 長	岩井 直路	国保二又診療所
副会長	吉田 裕	歯科医師会
	菅原由紀枝	栄養士会
役員	鵜浦 章	医師会
	大坂敏夫	薬剤師会
	阿部啓二	県立高田病院
	中田留美子	県立高田病院看護科
	佐藤寿裕	訪問看護ステーション
	熊谷ひとみ	デイサービス
	千葉祐志	介護支援専門員連絡協議会
	佐々木裕紀重	歯科衛生士会
	草別拓郎	訪問リハビリステーション
	鈴木志保	障害者相談支援専門員
監事	入澤美紀子	介護老人保健施設
	柴田夕子	介護支援専門員連絡協議会
顧問	石木幹人	初代会長
	大和田剛史	二代目会長
事務局	県立高田病院事務局	



「チームけせんの和」第1回研修会報告

テーマ「超高齢化・人口減少社会の陸前高田市における在宅医療の必要性とその体制」

日時：令和6年5月28日（火）

場所：陸前高田市コミュニティホール 参加人数：80名

講師：陸前高田市国民健康保険二又診療所 所長 岩井 直路先生

今年度第1回目の研修は「超高齢化・人口減少社会の陸前高田市における在宅医療の必要性とその体制」について、岩井直路先生からご講演をいただきました。

最初に、国の将来推計より、県人口は2050年に78万人、陸前高田市では2020年と比較して2050年までに47.3%減少し9617人、高齢化率は55.1%になるとの見通しが出ており、これに伴って医療需要の変化が予想されるというお話がありました。さらに死亡数で見ても、全国で2040年までにその数が増加、死因は悪性新生物・心疾患とともに老衰が増え、死亡の場所は自宅・介護施設等が増加傾向にあり、医療は、治す医療から人生（の最終段階）を「支える」医療へと変わっていく。気仙は外来患者が減る一方で在宅患者数が増えるため、医療と介護の複合ニーズに対応できる在宅医療の充実が急務になる、と述べられました。

介護度の高い患者さんにおける在宅医療の必要性については、以下の点を挙げてご説明いただきました。

- ・通院は介護タクシーなどの利用により身体的・経済的負担が大きい。
- ・介護者（家族）の協力が必要だが、介護する側の負担も大きい。
- ・在宅医療（訪問診療・往診）がないと、通院困難となった時点で入院・施設入所となる。
- ・長期化するため入院費等による大きな経済的負担が生じる。
- ・在宅療養・「在宅での最期」を希望する患者さんも少なくない。これらを受け、陸前高田市における在宅医療を推進していくためには「訪問診療/往診」・「訪問看護24h」・「ほっとつばき」間の連携と情報共有が重要であると話されました。

また、より良い在宅医療の手だてとして、●資料活用、問診アンケート●ZOOM在宅療養カンファレンス●訪問前ミーティング●LINE・WORKSによる患者情報共有●在宅医療研修等を挙げられました。

最後に、在宅医療を推進していくことは（患者さん・ご家族の「家で最期を迎えたい」という希望があることを前提として）、住み慣れた我が家で家族に囲まれ、本人も家族も納得・満足して旅立つことを叶え、最終的には幸せな街づくりにつながると締めくくられました。

私自身の家族や自分の将来と重ね合わせながら、とても興味深くご講演をお聞きました。

お忙しい中ご講演をいただきました岩井先生、研修会にご参加くださった会員の皆様、大変ありがとうございました。

研修会の終わりに、松原訪問看護ステーションが7月1日より業務を再開されるという嬉しいお知らせがありました。松原訪問看護ステーション様、在宅医療を支える1つの柱として今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



♡ 「フレッシュさん」 紹介コーナー ♡

<Q&A>

- ①出身地、②好きな食べ物・嫌いな食べ物、③陸前高田市の好きな所
- ④おすすめの観光地・スポット ⑤休みの時の過ごし方
- ⑥熱中していること、マイブーム
- ⑦集中する時や、気持ちを高める時に聞きたい音楽は？
- ⑧誰にも負けないとは言えないけれど、そこそこに良いと思うアピールポイントは？
- ⑨職場紹介及び、あなたの仕事の紹介

NPO法人 りくカフェ 事務局 菅原秀子（すがわらひでこ）



①陸前高田市 ②好きな食べ物：「アイス」と「ウニ」。嫌いな食べ物：生卵（温泉卵はOK）③高田松原（幼少時から震災時まで徒歩5分圏内に居住、海を眺められる最高の場所）④高田松原の防潮堤から眺める太平洋・山・復興記念公園 ⑤家庭菜園とガーデニングと料理であつという間に一日が過ぎますが、ウッドデッキで畑と花壇をボーっと眺めています ⑥サンパチェンスの栽培（大きな株にすること）。マイブームはカモミールをせっせと摘んで乾燥させ、ハーブティにして飲むこと。 ⑦クラシック音楽、いきものがかり ⑧老若男女、誰とでも会話ができること。そしてなぜかいつも元気にみられます（笑） ⑨りくカフェは地域の皆様の心と身体の健康を願い活動しております。特に食育には力を入れております。健康減塩ランチ付きのつどいの会、年に数回の健康食育講座などを企画し、地域の皆様が笑顔で元気で過ごすことができるようお手伝いしています。また、りくカフェスマート通信の発行担当。健康情報、健康ランチレシピなど掲載しております。りくカフェの公式ライン登録で毎週のヘルシーランチもご覧になれます。健康意識の高い皆様も是非実食体験してみませんか。

たかた歯科医院 歯科衛生士 岩淵舞子（いわぶちまいこ）



①陸前高田 ②好きな食べ物：豆腐、嫌いな食べ物：お刺身 ③美味しい食べ物がたくさんあるところ ④三陸花火大会 ⑤動画視聴、お買い物 ⑥ポイ活、大谷翔平選手の試合を見ること ⑦Hippity-Hoppity Springtime（東京ディズニーランド・イースターパレード2014の曲）が歌もダンスも可愛くて好きです ⑧特になし ⑨私の職場はたかた歯科医院です。当院は地域に根ざした歯科医院として、患者様一人ひとりに寄り添った治療を提供し、皆様の口腔健康をサポートしています。

そうごう薬局高田店 薬剤師 井花鴻太（いはなこうた）



①滋賀 ②好きな食べ物：ラーメン、嫌いな食べ物：ゴーヤ ③自然が豊かで、夏でも過ごしやすい環境が好きです ④滋賀県マキノ町 メタセコイアロード 冬のソナタの有名な並木道になります。（雪は降りませんが・・・） ⑤アマゾンプライムで映画を見ています。新作は映画館でみます。⑥星新一の短編集を読むこと ⑦花譜の「畢生よ」という曲を聴きます。その他ボーカロイドの曲を聴くことが多いです ⑧取り組み始めたことは最後までやりきるところです ⑨風通しの良い、和気あいあいとした雰囲気があり、お互いが助け合うことが多く皆が仲の良い職場です。普段、任されている業務は、薬局内の不動態在庫を減らすため医薬品の在庫管理を担当しています。

編集後記：「チームけせんの和」だよりの発行が今年で10周年を迎えました。Vol.1の発行は2014年（平成26年）でした。今号で、Vol.40となります。今年度最初の会報もおかげ様で無事に発行する事が出来ました。猛暑（酷暑）の中、原稿執筆を快くお引き受けいただき、心より感謝いたします。今年度も在宅医療の推進に向けて事業計画に則って地道に取り組んでいきますのでご協力をよろしくお願いします。